

# Summer みほとつだよ!

## 相鉄グループ 「デザインブランドアッププロジェクト」始動

2017年12月に創立100周年、さらにその後に都心への相互直通運転を予定する相鉄グループでは、「選ばれる沿線」を実現するため、グループのブランドイメージと認知向上を図る「デザインブランドアッププロジェクト」を進めている。

「くまモン」の生みの親であるクリエイティブディレクターの水野学氏らを迎え、鉄道の駅舎や車両、駅に隣接する商業施設などを統一されたデザインコンセプトに基づき、リニューアルしていく。

車両は、都心への乗り入れを意識し、外観に横浜の海をイメージした「YOKOHAMA NAVYBLUE」を採用。内装はグレーを基調としたデザインに、昼と夜で色調が変化する調光機能付き照明などを導入する。駅舎については、グレーを基調に、一部にレンガなどの素材を組み合わせ、落ち着いた雰囲気の良い空間に改修していく。

また、制服については、水野氏とスタイリストの伊賀大介氏の協働で、駅舎や車両のデザインコンセプトと機能性を両立させたデザインに一新する。



「YOKOHAMA NAVYBLUE」と名付けられた深みのある紺一色にリニューアルした9000系電車。4月10日に営業運転を開始した。

## 日本民営鉄道協会 『5カ国語・指さし会話<sup>®</sup>シート』を地方民鉄に提供

日本民営鉄道協会では、インバウンド対応として多言語対応の接客用質疑応答集『民鉄駅員の指さし会話<sup>®</sup>シート』（2016年版）を作成し、協会加盟の地方民鉄56社に提供した。

これは、訪日外国人観光客の増加に伴い、地方民鉄の有人駅においても外国語対応が急増していることに配慮したもので、訪日外国人受け入れ態勢のグレードアップを目指す。

今後、会員各社のニーズを調査した上で、「トラブル・緊急対応」「忘れ物」「駅施設のご案内」などの指さし会話<sup>®</sup>シートを作成していく予定だ。

### 特徴

- ①地方民鉄に固有かつ必要不可欠と思われる質疑応答を厳選。  
(ワンマン車両の運賃支払い、お得な切符の有無など約20フレーズ)
- ②必要なQ&Aがすぐに見つけられるように「1シート1場面」で構成。  
(2016年版は、「列車の乗り降り編」「きっぷの購入編」)
- ③会員のニーズが高かった5カ国語で表記。  
(英語・中国語〔簡体字／繁体字〕・韓国語・タイ語)



表紙 (A4判・表裏)

列車の乗り降り編  
(A3判・表裏)



きっぷの購入編  
(A3判・表裏)

(注)「指さし」「指さし会話」「YUBISASHI」は株式会社情報センター出版局の登録商標。

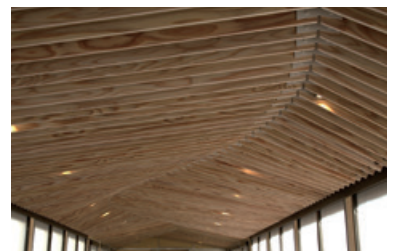
## 西武鉄道 西武 旅するレストラン 「52席の至福」運行開始

西武鉄道は、観光電車「西武 旅するレストラン『52席の至福』」の運行を4月17日(日)より開始した。「西武鉄道100年アニバーサリー」の集大成として開発したもので、次の100年に向けて運行する。

「52席の至福」は、池袋線・西武秩父線の飯能ー西武秩父間などで運行する4000系電車の4両編成1本を「全席レストラン車両」に改造した観光電車。西武線沿線の代表的な観光地である「秩父」をデザインコンセプトに、秩父の四季や荒川の水の流れを外観デザインに取り入れ、車内のインテリアには沿線の伝統工芸品や地産木材を一部に使用している。内外装は建築家の隈研吾氏が担当した。

車内は1号車が多目的スペース車で、3号車が厨房車、2号・4号車が食事を楽しめる定員52人の座席車となっており、有名店・シェフ監修のコース料理を季節替わりで提供する。土・日曜と祝日を中心に、池袋ー西武秩父駅間、西武新宿ー西武秩父駅間、西武新宿ー本川越駅間などで運行し、往路はランチコース1万円、復路はディナーコース1万5000円で営業する。

首都圏を走る電車の中でありながら、全座席で食事が楽しめる「乗って楽しい」「食べて楽しい」観光電車。景色の移ろいと美味しい料理を味わいながら、忙しい時間から開放された特別で優雅な時間を体験できる。



上／「秩父」の春夏秋冬と荒川の水を華やかに、ダイナミックに表現した外観デザイン。1号車は「春」をテーマに芝桜や長瀬の桜が描かれている。  
下／4号車は溪流の流れを表した木格子の天井を持つ車両。不燃処理を施した地産の西川材が使用されている。

## 西武秩父駅に 秩父鉄道「SLパレオエクスプレス」が入線、出発

西武鉄道では、5月28日(土)・29日(日)の両日、秩父鉄道の「SLパレオエクスプレス」を西武秩父線西武秩父駅から、秩父鉄道三峰口行き臨時SL列車として運行した。

また、この臨時SL列車の運行に合わせ、池袋駅からイベント用臨時電車として特急レッドアロー号を運行。西武秩父駅ホームでは、臨時SL列車と臨時特急レッドアロー号のツーショットが実現した。



左／秩父鉄道の蒸気機関車が牽引する客車列車「SLパレオエクスプレス」  
右／西武鉄道の特急車両「レッドアロー号」10000系

西武鉄道は1957年まで、北所沢駅(現・新所沢駅)から蒸気機関車を運行していた。西武線系統の駅から蒸気機関車が出発するのは、約60年ぶりになるという。